

ピロリ菌について

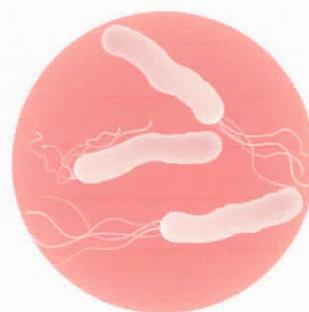
検査室だより 2023.4

詳しく知らなくても、名前は聞いたことがある、という方は多いのではないのでしょうか。今回は、ピロリ菌についてお話します。

【ピロリ菌とは】

ピロリ菌はヒトの胃の粘膜に感染する微生物で、細長い体の一端に数本の鞭毛（べんもう）を持ち、胃の中を活発に移動します。

正式にはヘリコバクター・ピロリといいます。ヘリコは「らせん」という意味で、ヘリコプターのヘリコと同じです。バクターはバクテリア（菌）、ピロリは胃の出口「幽門(ピロルス)」が由来で、胃の出口あたりに生息するらせん型の細菌という意味です。



【ピロリ菌と病気】

菌の発見以来、様々な研究の結果、ピロリ菌が胃炎や胃潰瘍・十二指腸潰瘍などの病気の発生に深く関わっていることが分かってきました。

多くの場合、ピロリ菌は除菌しない限り胃の中に棲み続けます。ピロリ菌が感染して炎症を起こした胃粘膜は慢性胃炎となり、慢性胃炎が長く続くと胃粘膜が薄くやせて「萎縮」が進み萎縮性胃炎という状態になります。胃がん発生のリスクが高い状態と考えられ、ピロリ菌は胃がんとも密接に関係していると言われています。

ピロリ菌を除菌すると、胃や十二指腸の病気が改善することや、それらの病気を予防することが期待できるため、ピロリ菌の感染が分かれば積極的な除菌治療が推奨されています。

ピロリ菌を調べる検査は、大きく分けて内視鏡を使う検査と使わない検査があり、それぞれいくつかの方法があります。次回はピロリ菌の検査などについてお話します。

お気軽に医師・看護師までご相談ください。